

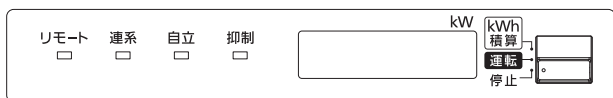
停電時の自立運転

- 停電時には自立運転に切り換え、パワーコンディショナ側面の自立運転コンセントから供給される電力により、電気製品を使用可能です。(日射のある場合、最大 15 Aまで)
- 連系自立自動切替の設定が ON の場合は、下記の操作は不要です。(7 ページ)

本体操作

1. 運転スイッチを「停止」にする

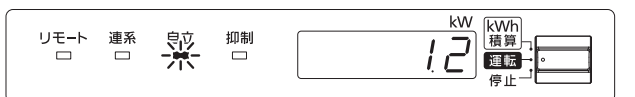
表示が消え、パワーコンディショナは運転を停止します。



2. 運転スイッチを「運転」にする

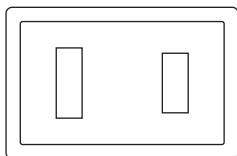
表示部がカウントダウンを開始すると同時に自立運転ランプが点滅します。約 10 秒後に自立運転ランプが点灯し自立運転に切り替わり、自立運転コンセントに AC100V が出力されます。

- 自立運転時の電力表示は、自立運転コンセントに接続された機器の消費電力を表示します。
- 自立運転していても、電気製品を使用していなければ、電力表示は 0.0kW となります。



(表示例)

自立運転コンセントは、向かって右の側面にあります。次ページの注意事項を守ってお使いください。



自立運転
コンセント
(最大 15A)

リモコン操作

1. 停止 運転 スイッチを「停止」にする



- パワーコンディショナは運転を停止します

2. 停止 運転 スイッチを「運転」にする



- 約 10 秒後に自立ランプ（橙）が点灯、自立運転コンセントに AC100V が出力されます
- 自立運転時の電力表示は、自立運転コンセントに接続された機器の消費電力（単位：kW）です

(本体の運転スイッチが「運転」になっている必要があります。)



(表示例)

自立運転を停止

本体操作・リモコン操作ともに、上記2. で「運転」にしたスイッチを「停止」に戻す表示部の自立運転ランプが消え、自立運転コンセントの出力が停止します。

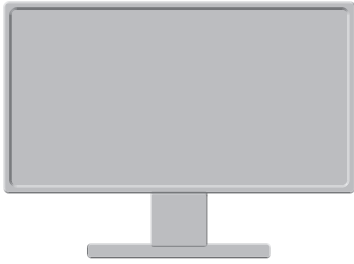
再び連系運転を開始する

復電を確認後、本体操作・リモコン操作とも、それぞれの運転スイッチを一度「停止」にした後、再び「運転」にする

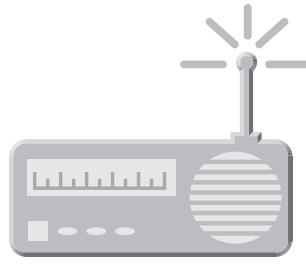
約 300 秒後に連系ランプが点灯し、連系運転を開始します。

特にリモコン使用時は、本体側でなくリモコンでの操作が必要ですのでご注意ください。

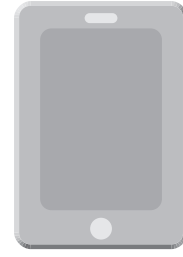
自立運転コンセントで使える機器例



テレビ



ラジオ



スマートフォンなどの充電器

警告



■自立運転コンセントに以下の製品をつながない

発電電力は天候により変動します。パワーコンディショナの発電電力が自立運転用コンセントにつないだ電気機器の消費電力より小さい時は運転を停止します。途中で電源が切れると、生命や財産に損害を及ぼすおそれがある以下の機器は使用しないでください。

- ・ 全ての医療機器、灯油やガスを用いた暖房機器
- ・ 電気ストーブや電気こたしなど高温部が露出している機器
- ・ デスクトップパソコンなどの情報機器やその周辺機器、炊飯器など
- ・ 法律で予備電源や非常電源の設置・接続が義務付けられている機器（非常用照明、消火設備等）
- ・ その他、電源が切れると生命や財産に損害を及ぼすおそれのある機器

注意



■タコ足配線はしない

延長コード等の容量を超えると、発熱により火災や機器の故障のおそれがあります。

お知らせ

- 通常時に自立運転の機能確認を行う場合は、①一度パワーコンディショナの運転を停止し、②太陽光発電システム専用ブレーカを OFF（切）したあと、③再び運転スイッチを「運転」にしてください。
- 自立運転コンセントはおお客様のご要望により増設することができますが、本体のコンセントと合わせて最大 15A 以下でご使用ください。最大消費電力が 1,500W 以上の機器は使用できません。15A を超える電流が流れた場合、本機内の保護装置が働く場合があります。保護装置の起動を繰り返す場合は、自立運転コンセントへの接続機器を減らしてください。保護装置が数回働くと自動的に運転を再開しなくなります。
- 連系自立自動切替の設定が OFF の場合は、自立運転を行っていないなくても復電後に連系運転を開始するためには、手動によるスイッチ操作（停止 ⇒ 運転）が必要です。

自立運転時のご注意（点検コードは 14～15 ページ参照）

- くもりや朝夕など太陽電池モジュールの発電量が少ない場合は、使用する電気製品の消費電力が多いために機器内の保護装置が働く場合があります。保護装置が数回働くと自動的に運転を再開しなくなります。
- 太陽電池モジュールが十分に発電している時でも、洗濯機、掃除機、冷蔵庫、コピー機、シャワートイレなど、モータを内蔵している電気製品は、運転開始時に大きな電流が流れたり、波形の歪が大きくなるため、使用できない場合があります。
- パワーコンディショナの自立運転出力は、商用電源と完全に同一ではありません。通常時と電気製品の動作が異なったり、動作しない場合があります。

- 自立運転開始後に太陽光発電システムや、接続された電気機器から発煙、異臭や異音がした場合は、ただちに運転を停止してください。